

事業所名

児童デイサービスいろは

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

1日

法人（事業所）理念	・満足する福祉 ・貢献する福祉 ・最新の福祉			
支援方針	・子どもひとり1人の色(個性)を大切に、子どもたつの笑顔をふやし可能性を育みます。			
営業時間	9時	0分	18時0分まで	
	送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握 ・基本的生活スキルの獲得のために、その子なりに身の回りの事が出来るよう支援する。 ・健康な心とからだを育むことに関するプログラムを実施。		
		ねらい	健康状態の維持・改善、生活リズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得	
		プログラム例	健康チェック、定時トイレ誘導、衣服着脱、持ち物の整理整頓、視覚(スケジュール掲示)支援	
	運動・感覚	粗大運動	基礎動作の移動・平衡・操作系動作を習得するプログラムを実施	
		微細運動	つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・とおす・はる・ぬる・はめる・こする・描く・切るに関するプログラムを実施	
		感覚刺激	感覚遊びに関するプログラムを実施	
		姿勢保持	着座を狙いに机上に向う課題に取り組み、姿勢保持に必要な体幹部の安定、腹圧の維持に関するプログラムを実施	
		危機管理	危険を察知して自分の身を守る術を身につけ、リスクを最小限にできる身のこなしを習得するプログラムを実施	
		ねらい	姿勢と運動、基礎動作の習得、目と手の協応、手足の協調運動、力のコントロール、保有する感覚の活用、危険管理能力の向上	
		プログラム例	走る、飛ぶ、ボール遊び、なわとび、リズムジャンプ、受け身など	
	認知・行動	・ボディイメージ・色彩・位置空間・弁別・分類・感情・時間・文字・数・図形など概念に関わること、考え方や行動を変える方法を学ぶことに関するプログラムを実施		
		ねらい	認知の発達と行動の習得、空間・時間・数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	
		プログラム例	マッチング、弁別、図形、数、色彩、時間に関する課題、SSTなど	
	言語・コミュニケーション	・自己表現・樹長を相手に伝える手段、相手の言葉の意味や表情の読み取り、指差し、身振り、サイン等の活用 ・人とのかわり方を中心としたコミュニケーションスキルに関するプログラムを実施		
		ねらい	言語の受容及び表出、コミュニケーションの基礎の向上、コミュニケーション手段の選択と活用	
		プログラム例	SST(ソーシャルスキルトレーニング)等	
	人間関係・社会性	・自己の理解とコントロールのための支援、集団参加への支援を中心とした社会・生活スキルに関するプログラムを実施		
		地域生活、社会	他者との関わり、事故の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加	
		プログラム例	SST(ソーシャルスキルトレーニング)等	
	家族支援	・児童の発達に関する相談、助言等 ・家庭生活に関する相談、助言等 ・きょうだい児に関する相談、助言等	・支援内容に関する相談、助言等 ・集団生活に関する相談、助言等 ・制度に関する相談、助言等	移行支援
地域支援・地域連携	・地域の資源(児童館、公民館、高齢者施設)との交流の機会をもち、ふれあい等の機会をもつ。		職員の質の向上	
主な行事等	・季節の行事、制作(母の日、父の日、節分、ハロウィン、クリスマス等) ・長期休暇(課外活動、クッキング、買い物体験等)			
			・保育所や学校への訪問や受け入れの際に行った会議を通じて、児童の心身の状況や生活の環境などの情報連携を実施 ・事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、般化を目指した支援を行う ・インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動する事を推進する	
			・年間教育研修計画に基づき実施 ①虐待防止②身体拘束等適正化③事故防止④感染症⑤安全計画⑥災害キャリアアップ研修・・・スキルアップ、資格取得、研修の機会の提供	